

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔精肉〕 (店長)	・客単価が上がってきたように思われ、この傾向は続くように感じている。
		百貨店(売場主任)	・高額商品だけではなく、一般商品でも売上単価の上昇傾向がみえる。気温も上昇しており、季節商材に期待できるとともに、ボーナスアップによる需要拡大が見込めそうである。
		スーパー(店長)	・まだまだ状況としては厳しいが、ボーナス商戦を控える6月に、買上があるのではないかと期待もある。ボーナスの増えた分が、生鮮食品を中心とした加工食品などスーパーマーケットにある程度の優位性のある食品で買上アップにつながってほしい。
		コンビニ(経営者)	・前年同月比で満足できる数字になるかどうかは判断できかねるが、気温の上昇とともに飲料の売行きが伸びることで、現在よりはやや上がることは間違いない。
		衣料品専門店(経営者)	・連日、株高や円安、高額品が売れだしているなどの報道がされているため、そろそろ身近で変化が表れるに違いないと信じている。そうでなければ、何のための政策なのか。ちまたでは20%くらいの企業、20%くらいの人潤う政策だといわれている。
		家電量販店(店長)	・テレビの前年同月割れは避けられないが、今年の夏は猛暑が予想されているため、早期のエアコン購入が見込まれる。
		乗用車販売店(経営者)	・高級車の注文が少し増加してきている。
		乗用車販売店(役員)	・消費税率の引上げを控えて、政官財挙げて景気浮揚に腐心しなければならぬと思っているため、より一層のアベノミクス効果の浸透が図られると考えられる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・メーカー側の在庫計画が前年同月を上回ることや来客数の伸びが想定されることより、衣料品を中心に、夏物のバーゲンやクリアランスの売上に期待が持てる。
		観光型旅館(経営者)	・ゴールデンウィーク期間中、近隣のドライブインでは従来よりも少し単価の高い商品が売れ始めたという。今のところは宿泊料金までは波及していないが、一時の安売り競争からは少し脱却できるかもしれない。
		観光型旅館(スタッフ)	・予約状況は7月のみ前年同月を下回っているが、7月以外は前年同月を上回っている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・予約状況は順調に入っており、特にインバウンドは前年同月比倍増の勢いである。
		旅行代理店(従業員)	・問い合わせも多く、来客数及び単価ともに上昇している。高価格商品が一定に売れている。
		タクシー運転手	・深夜の繁華街は今でも良くないが、夜は多少であるが客が出てきている。
		その他レジャー施設(職員)	・『戦略市場創造プラン』で「健康寿命伸長産業」として取上げられたり、孫の教育に関する支出についての贈与税の非課税制度が創設されたことに期待している。
		住宅販売会社(経営者)	・消費税率引上げ前の駆け込み需要が見込める。
		住宅販売会社(従業員)	・展示場の来場者数は思ったより伸びていないが、消費税率の引上げ後を見据えた大手他社の価格攻勢が目立ち、収益の確保は厳しくなることが予想されるが、受注増は期待できる。
		住宅販売会社(従業員)	・消費税率の引上げによる受注先食い状況は、加熱していくと思われる。
		変わらない	商店街(代表者)
商店街(代表者)	・ここ2~3日暑い日が続いたが、夏物が動き出すというより、外出を控え来客数が減る傾向の方が強かったように思う。これから一気に暑くなるとどうなるか不安である。		
一般小売店〔鮮魚〕(従業員)	・円安や株高はもちろん功罪併せ持つが、弊社では一部に悪影響がある。円安により冷凍エビなど輸入食材がこのところ急激に値上げされていることなどへの克服すべき課題は分かっているが、今のところ販売価格に転嫁できていない。		
一般小売店〔書籍〕(従業員)	・市場全体が景気が良いと感じるのは、客の購買の様子などからまだまだ先と思われる。		

百貨店（営業担当）	・消費税率引上げや電気料金の高騰など、徐々に客の財布のひもが固くなっているのが実情ではないかと思う。現在、買い控えをしている様子は無いが、これから徐々に、財布のひもが固くなっていくのではないかと思われる。高額品が売れる一方で、財布のひもを締めるという客も多くなっているため、3か月後は、今とほぼ変わらないのではないかと思う。
スーパー（店長）	・周りの状況を確認しても、この先も特に変化は無いとみている。
スーパー（総務担当）	・円安による原材料費アップのため、一部メーカーからは値上げの要請が届いている。今後販売価格も上げざるを得ないため、消費者の動きが心配である。
スーパー（総務担当）	・円安の影響で食品も値上げが相次いでおり、今後は資材なども含めた値上げが予想される。ただし、生活必需品に多大な影響を与えるにしても、もう少し後になると思われ、当面は変わらないと感じる。
コンビニ（店長）	・本来であれば前年同月比越えで景気上向きを期待したいが、今月は全面改装の内的要因が無かったら同比率は割れていた程度の伸びでしかない。今後は、株価の不安定や住宅金利の上昇など、住宅ローンのある世代の方には不安ばかりが残る時代である。消費税率の引上げなども今後控えているなか、景気よくお金を使う方は少ないと考えられるが、今から夏となり、今月は前年同月比越えなどの近況から、今後2～3か月先の状況は変わらないと予想される。
コンビニ（店舗管理）	・一部の大手企業を除いて、今春の給与のベースアップも叶わなかった。「株高」や「円安」と景気の良い話で一時的には明るい空気も漂ったが、ここへきて実態としての景気が好転していないことを感じているように思う。
衣料品専門店（経営者）	・昨今の株の不安定や消費税率の引上げなどもあり、一部大企業は好転しているといわれているが、中小企業までは好況感が回ってきていないし、期待もできそうにない。
衣料品専門店（総括）	・外的要因が無ければ需要が上らない状況では、景気は良くなるという判断はできない。
家電量販店（店長）	・アベノミクス効果がよく取上げられているが、あまり効果がみえない。4Kテレビなど話題の商品が出ているが、単価が上がってきていない。
家電量販店（管理本部）	・お金を投じてどうしても欲しいと思えるようなインパクトの強い新製品が少ない。
乗用車販売店（経営者）	・車の購入は夏の賞与をみてからという言葉をよく聞くので、しばらくは変わらない。
自動車備品販売店（従業員）	・集客面はまだ前年並みの状態が続いているが、主力の商品単価下落が続いており、回復の兆しがみえない状況で依然厳しい環境が続くと判断する。
住関連専門店（店長）	・消費税率引上げによる新築の駆け込み需要に合わせて多少は上がってくると予想されるが、どこまで上がるかは不明である。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・輸出関連など景気が良くなっている業界もあるかと思うが、小売業界まで波及するのはまだまだである。引き続き辛い日々が続くと予想している。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・消費税率の引上げにより高価格商品は売れているが、低価格商品はより安い物を求めて一般消費者は購入している状況に変化は無い。
その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・景気の良し悪しは、非日常性の商品が売れるかどうかにかかわるが、化粧品や健康食品、ダイエット関連商品の販売額に目立った変化は無く、今後もこの傾向は続くと考える。
高級レストラン（スタッフ）	・予約の状況は、前年同月と同様に推移している。
一般レストラン（店長）	・アベノミクスの地方波及を期待しているが、なかなか目に見えて表れない。反動が怖い。
スナック（経営者）	・一部の職種だけが良いなかで、また、ムードだけが先行しているなかで、乱高下があり、どちらともいえない。
都市型ホテル（スタッフ）	・足元の予約状況は前年同月並みで推移している。欧米系の外国人の旅行者は確かに増えているが、全体の売上を底上げするには至っていない。日本人も旅行者はやや増えてきており、マインドは上向きになってきているように感じるが、商品の内容や価格に対する目は相変わらず厳しい。
旅行代理店（従業員）	・ムード先行で、実態がまだまだ伴っていない。相変わらず一般の個人客は、必要最低限の旅行であっても価格には大変敏感である。また、価格帯も二極化している。「行きたければどこへでも行く」という旅行ニーズは、まだまだ望めない。

	タクシー運転手	・夏のボーナスも期待できるのではないかと。また、港では今後県などが豪華客船を一層誘致しているため、夏場にかけて入港が予定されている。経済効果があるため、引き続き期待できると思う。	
	通信会社（職員）	・株式市場の乱高下が続き、ちまたに不安が広がっており、先行きを楽観する人はまだまだ少ないように見受けられる。	
	通信会社（営業担当）	・今月は販売量に大きな変化はこれといって無く、前年同月と同様の解約数であるため、現状すぐに状況が良くなるとは考えにくい。	
	通信会社（営業担当）	・現在の端末への訴求が、しばらく継続するものと思われる。	
	テーマパーク（職員）	・国内旅行の先行予約をみても、他の地区で大きなイベントなどもあり、全体としての動きは当地域は鈍くなっている。また、海外からのインバウンドも、これからはオフシーズンになり伸び率もそれほど多くは期待できないため、全体としては今の水準が変わらず続くのではないかと思う。	
	競輪場（職員）	・アベノミクス効果が全く感じられない。ギャンブルにお金を使う余裕はまだまだ無さそうである。	
	美容室（経営者）	・株価の上昇が一般消費者の消費意欲につながっている状況は今のところみられておらず、この先もまだ期待できない。	
	住宅販売会社（従業員）	・前年同月と比較すると客の動きや成約数は増えているものの、2割増しには達していない。慎重な客層も多く、決断するまでの期間は長くなっていると思う。	
	住宅販売会社（従業員）	・消費税率引上げ前の9月末までに、請負契約の締結に向けて駆け込み需要が予想される。	
	やや悪くなる	一般小売店〔事務用品〕（役員）	・最近ではアベノミクス効果がいわれているが、我々の商売はすぐにそのようなものに反応する業態ではないため、例年どおり夏までの間は種まきの時期でありそれほど数字は変わらないと思うが、まだ不透明感があるため少し悪くなると考えている。
		百貨店（営業担当）	・今の予測ではボーナスはかなり期待ができると見通しているが、実質、客の買物の仕方をみていると、高額品に関してはどれだけ価格が下がるかであったり、迷って結局買わないといった慎重な購買行動がみられ、先はみえない。
		スーパー（統括）	・今後、円安に対する影響は、たとえば車のガソリンであるとか、電気やガス料金などの値上げということになってくると、生活に対する支出の割合が変わってくる。そうした場合、スーパーを始めとした小売業に関しては、全体の消費のなかで食料品に影響が出ると思う。
		通信会社（役員）	・少数ニースをターゲットとした商品やサービスの多様化が進展しており、既存のテレビやインターネットサービスの提供シェアは、今後少しずつ低下していくと予想している。
	悪くなる	-	-
企業 動向 関連	良くなる	一般機械器具製造業（総務担当）	・国内市場で工作機械の高齢化が進んでいるので、設備投資に後押しが必要との発表もあり、国内の中小企業からの受注が期待できる。
(北陸)	やや良くなる	食料品製造業（役員）	・今後も販売価格の高い製品の売行きが増加してくる状況が予測され、かつ主原料の価格が下がってくる傾向にあるため、やや良くなるものと思っている。
		繊維工業（経営者）	・コストアップが先行しているが、今の為替水準が続けば純輸出関連を中心に受注の回復が期待される。
		化学工業（総務担当）	・今後の生産予定が増加傾向にある。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入り具合をみて、やや良くなる。
		建設業（経営者）	・4～5月の工事量が手薄の状態から、5月に受注した工事に取り掛かることができることで人手の余剰感は薄まる。
		金融業（融資担当）	・現在のアベノミクスへの期待による株価や為替相場の回復が継続し、実態の需要が出てくることで、企業への実績の動きが期待できる。
		金融業（融資担当）	・耐久消費財あるいは生活消費財ともに、今は良いとはいえない状態、気分のみが先行している状態と思われる。ただし、株価の上昇などもあるため、耐久消費財から先行して伸びていくことが考えられる。
		司法書士	・高い価格帯のマンションの売行きが良かったり、住宅新築の案件が多い。

	税理士（所長）	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な経済の諸施策が出てくるように感じる。税理士としても、様々な中小企業の支援の施策について行政から案内があるが、中小企業に過度の事務負担とならないことを願っている。やはり景気は気分であるため、行政の役割というのが勢いをつけるアクション、パッションだと思われる。そちらの方でいくと、今の景気に水を差すことは無いのではないかと思う。あまりきめ細かい政策は必要なく、とにかく輸出できる環境を整えて頂く、やはり輸出立国であると思うため、そういったところを期待したい。 	
変わらない	繊維工業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・消費の動きはまだ先であると思う。今年の秋冬の生産がやや勢いはあるかなというところである。 	
	プラスチック製品製造業（企画担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅市場は消費税率の引上げの影響が出る年末から拡大するとみているので、ここ2～3か月先では今と同じような状況が続くと考えている。 	
	一般機械器具製造業（経理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・円安や株高による高揚感で消費が伸びてきていると感じるが、景気上昇の持続には輸入品の価格上昇など懸念事項がある。 	
	精密機械器具製造業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・アベノミクスや為替に期待感はあるものの、トレンドとしてまだ実際の数字に表れてきていると断言できない状況である。国内大手チェーン店からの高額商品の更なる受注が決まるなどの現象はあるが、全体的にはまだしばらく今のよう状況が続くと思われる。 	
	建設業（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として低価格で受注競争をする業者もあり、適正な採算での受注確保が難しい状況が続くと思われる。一方で、労務費を中心にコストが上昇傾向にあり、依然と厳しい環境が見込まれる。 	
	輸送業（配車担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・国内向けの物量が今後極端に増加するとは思えない。 	
	通信業（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・建設会社あたりが従来は疲弊していたが、最近は徐々に元気になってきているように感じる。通信設備の更改も進んできている。 	
	不動産業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・個人客から問い合わせや申込が多い状態になっている。この状態が2か月程度は続く予想されるが、3か月先となると落ちてくるとの見通しである。 	
やや悪くなる	新聞販売店〔広告〕（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は5月に入っても暑くなく、夏物の衣料品の売行きが良いとは思えない。その反動が、7～8月のチラシ出稿量の減少につながるのではないかとと思われる。 	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	
(北陸)	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数が増えるにつれ、優秀な人材の確保や育成に取り組む、マッチング率を高めるように努める。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業など一部の業種については人出不足感があり、求人に対する意欲は高いように感じる。この動きがほかの業種にも回ってくれば、景気は良くなっていくのではないかと考えている。
変わらない		人材派遣会社（役員）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業での人材不足が発生してこそ派遣需要に結び付くものである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員の大きな雇用計画が出てこない。
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・求人が増加傾向にあるが、パート求人などの非正規求人が中心となっており、正社員の求人はほとんど増加していない。
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求人数は前年同月比17.7%増加したが、県内の主要産業である製造業の求人数の回復がみられない。
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業の増加など期待も大きいですが、原材料の高騰など、円安の影響が求人にも出ている。
		民間職業紹介機関（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業など実際に仕事として増加してこない、求人増につながらない状況にあり、まだ増えた実感が無い。
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	